

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 平成 27 年 6 月 20 日

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・准教授
氏名 Name	高階早苗
専門分野 Academic Field	近・現代フランス文学

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	19~20 世紀フランス文学作品における「窓」について				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>1、「窓」をテーマに 19~20 世紀のフランス文学を分析する。</p> <p>(1) 建築学や社会学において私的空間という概念が生まれた 19 世紀フランスにおいて、外部 (通り) = 公的空間と内部 (室内) = 私的空間を介在する「窓」が両者をどのように分断、連結しているか、モーパッサン、ヴェルレーヌ、マラルメなどの作品を通して分析する。</p> <p>(2) シュルレアリスムにおいて、窓や鏡は現実世界と幻想世界 (精神世界) の境界であり、かつ、後者への入り口の役割を果たす。ブルトンのエッセイや作品、マグリットの絵などから窓やガラス、鏡の役割を分析する。</p> <p>2、昨年度までの人魚をモチーフとした研究において、アール・ヌーヴォー芸術との関連について論文ではあまり触れることができなかった。そこで本年度は人魚に限らずアール・ヌーヴォーの影響を調査し、考察する。モチーフとしての精霊や怪獣を作品から分析する一方、万国博覧会等についてのエッセイも参照する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ 文学	文学一般	芸術一般		
キーワード Keywords*2	フランス詩	サンボリズム			